

コード	201050102
記入日	H25.5.31

課コード	113
課名	環境課
課長名	平田 竹喜
担当者	前田 光昭

事業評価表【事後評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	汚泥再生処理センター乾燥機設備改修事業
----------	---------------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 24 年度 ~ 平成 24 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	4
施策コード	201	施策名称	しまの自然とともに生きる環境づくり	項コード	2
基本事業コード	20105	基本事業名称	適正なし尿処理の推進	目コード	5
事務事業コード	2010501	事務事業名称	汚泥再生処理センター管理費	細目コード	319
関連計画	新上五島町一般廃棄物処理基本計画	法令・条例規則等	廃棄物処理法・新上五島町廃棄物の処理及び再生利用等に関する条例・新上五島町廃棄物処理施設設置条例		

計画 (PLAN)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標					
(対象1) 町民		(対象指標1) 22,254人口H24.4.1現在)					
(対象2)		(対象指標2)					
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
(全体)		(指標名称)		(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****		*****		*****	*****	実績補修工事÷ 計画補修工事	*****
・乾燥機設備のボイラー蒸気配管等の改修工事を行うことで蒸気ドレンの回収利用と経費節減が期待できることで変更する。 →乾燥設備改修工事 1.0式		① 乾燥機設備改修		1.0式	100%		平成24年度
		(達成率分析)		計画どおり実施した。			
		②					
		(達成率分析)					
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
		(指標名称)		(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		*****		*****	*****	施設使用可能日数÷ 施設使用可能率	*****
・蒸気ドレン排水困難の打開策と合わせて乾燥設備の蒸気配管等の改修工事を行うことで安定した運転管理と十分な効果が発揮でき、水道料及び燃料費の節減を図ることができる。		① 施設使用可能率		100%	100%	365日	平成24年度
		(達成率分析)		適正な時期に補修工事を実施した事で、突発的な事故等により施設が緊急停止する事無く、安定した運転が出来た。			
		②					
		(達成率分析)					

実施 (DO)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 24 ~ H 24		23年度以前	24年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	①	式	1.0	1.0	1.0	1.0
	②					
成果指標	①	%	100	100	100	100
	②					
総事業費 C (A+B)	千円	5,425	5,215		5,425	5,215
直接事業費 A	千円	4,725	4,515		4,725	4,515
人件費 B	千円	700	700		700	700
内訳	従事職員数	人	0.1	0.1	0.1	0.1
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
	国補助金	千円				
	県補助金	千円				
	起債	千円				
財源内訳	その他	千円				
	一般財源	千円	5,425	5,215	5,425	5,215

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理 由	ポイラードレンを排水溝へ排水するのが困難となり、支障をきたしていたため、早急に補修を行う必要がある。
	有 効 性	・事業の目的は達成されましたか。	● はい いいえ	理 由	乾燥機設備の蒸気配管等の改修を実施したことにより、ドレン排水を再利用水として使用することが可能となったため、水道使用量と燃料使用量の節減が図られた。
	有 効 性	・より少ない費用や業務量で事業や活動が効率的に実施できましたか。	● はい いいえ	理 由	運転維持管理を行う業者との工事実施時期の調整を行ったことで、短期間で実施することができ、汚泥再生処理施設の運転に影響を与えることなく改修工事を実施できた。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	○今後の関連事業に対する改善点（事業方法の検証・事業の成果等の検証を踏まえて、今後の関連事業等に対する改善点）	
	<p>汚泥再生処理施設も、施設稼働開始から11年を経過しているため、各機器の更新等も考慮する必要がある。更新等の実施に際しては、単純に同等品で更新するのではなく、機器の長寿命化やその場合の経費比較（ランニングコスト等での比較）を実施することにより、施設の運営管理に関する経費が削減できないかを考慮し、検討すべきである。</p>	
1 次 評 価	○目的が達成されていない場合の課題と改善策（目的が達成されていない場合、また、課題が継続している場合の改善策）	
	<p>目的は達成された。</p>	
2 次 評 価	<p>施設の維持・管理に必要な事業であるが、本施設は稼働開始して11年が経過していることを考慮すると、今後も機器等の更新や補修等が予想される。適正な維持管理を図るとともに、機器の更新等に関しては計画的に行い、機器等の長寿命化に努めること。</p>	

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。